

3、授業・行事関連

Q. どのような教科がありますか？

A. 生徒が将来の生活を見据えながら学習に取り組み、生活をつくりあげていけるように、「職業生活」「社会生活」「家庭生活」の3つの学習を柱とし、関連する教科・領域の学習を加え、「総合的な探究の時間」で学習経験をまとめていく構造となっています。

- 柱となる領域・教科を合わせた指導 職業生活、社会生活、家庭生活
- 教科・領域別の指導 保健体育、音楽、美術、教養、特別活動
- 総合的な探究の時間

Q. 「働く生活プロジェクト(はたプロ)」とは何ですか？

A. 以下のような、ねらいや方法で、職業生活の作業に4週間取り組みます。

● ねらい

- 1) 生徒一人一人の現在及び将来の職業生活におけるニーズの実現に向けて、必要な能力の習得と向上を図り、実践的な態度を育てる。
- 2) 生徒一人一人が様々な職業や余暇、社会人の生活について関心をもち、社会で働く人々との交流を通して、働くことについての意識を高める。

● 方法

- 1) まとまった期間、継続して作業を中心とする学習を行うメリットを生かして、働く力(作業面、社会性の面)をより伸ばさせられるように内容及び支援の工夫をする。
- 2) 職業生活に関わる実践的な知識・能力・意欲を高めるため、コミュニケーションのとり方などの社会的スキル、ビジネスマナー、接遇マナー、技能検定、健康管理、余暇の過ごし方などの内容を生徒の実態に応じて段階的又はトピック的に学習計画に組み入れる。
- 3) 働くことに必要な力を活用して、一貫性のある目標設定や評価を行い、内容及び支援の工夫・改善に活かすよう努める。